



■ N D C 9 0 9

昭和39年

4 9 8 P.

2 2 . 5 cm

小学館版

—— 少年少女世界の名作文学／第14巻／アメリカ編5 ——

■ 昭和39年9月20日初版発行 ■ 昭和44年5月20日第6版発行

■ 少年少女世界の名作文学／第14巻／アメリカ編5

■ 小公子／小公女／秘密の花園／ワンダーブック

■ 定価四八〇円

■ 編者／◎名作選定委員会 ■ 発行者／相賀徹夫

■ 発行所／株式会社小学館 東京都千代田区神田一ツ橋二ノ五

■ 電話／東京(263)二一一一 ■ 振替／東京二〇〇番

■ 郵便番号一〇一

■ 印刷・製本／大日本印刷株式会社

■ 本文用紙／本州製紙株式会社

■ 表紙クロス／東洋クロス株式会社

執筆者紹介

奈街三郎／明治40年 宮城県

に生まれる。児童文学者協会
会員。昭和27年小学館児童文
学賞を受く。主な著書に、イ
ソップ物語・グリム物語・か
ねがなります

宮脇紀雄／明治40年 岡山県

に生まれる。児童文学者協会

会員。主な著書に、童話集山

かげの石・小林一茶

谷村まち子／大正3年 東京

に生まれる。児童文学者協会

会員。主な著書に、ヘレンケ

ラー物語・天使の花かご

赤井ひとみ／大正14年 東京

に生まれる。日本児童文芸家

協会会員。主な著書に、グリ

ム童話・明日は知らない

はじめに……………

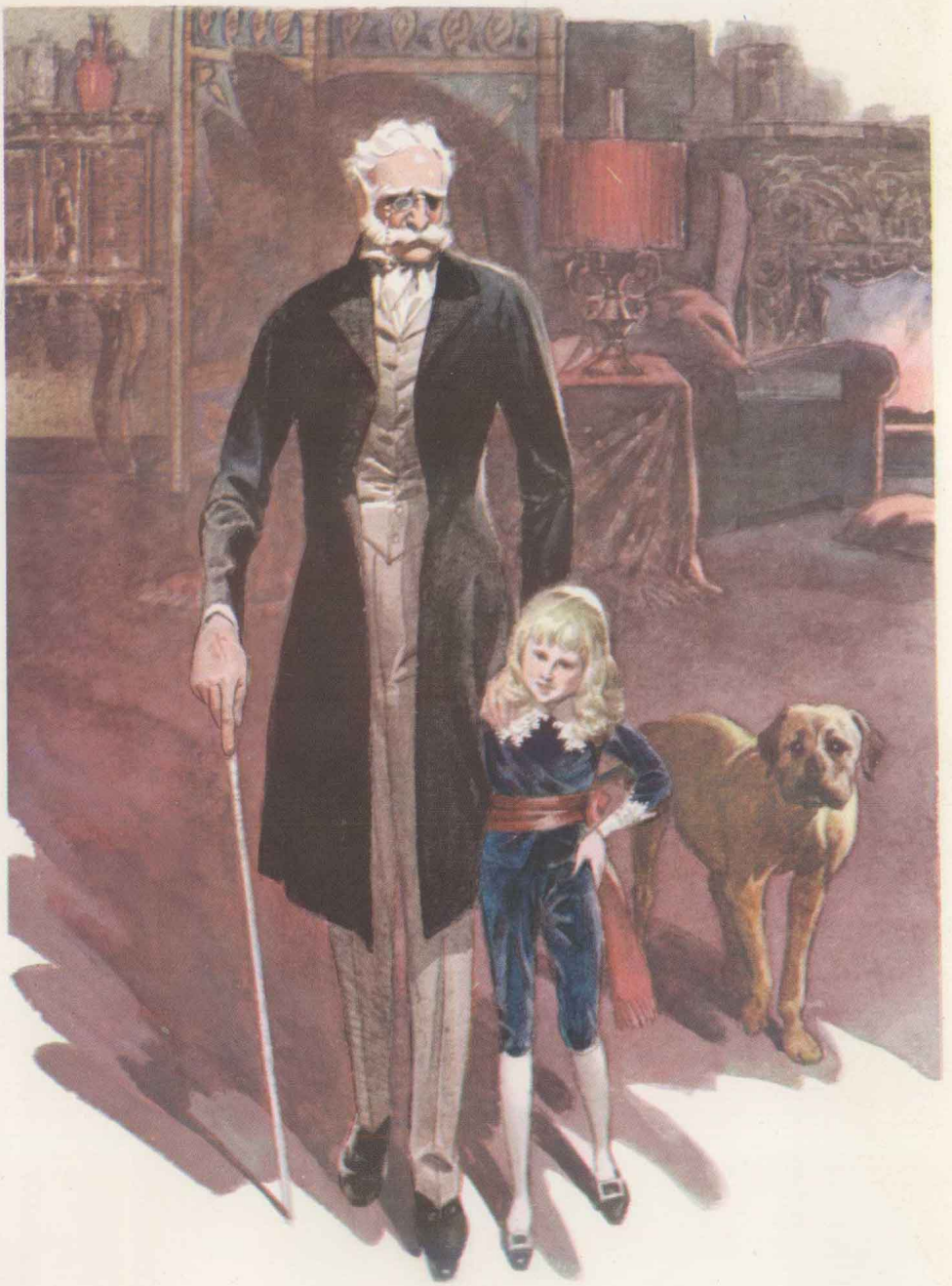
村岡花子

バーネット女史の『小公子』、『小公女』、『秘密の花園』は、いつになっても少女、ひいては、家庭文学としての位置は動かないでしょう。

もつとも、『小公子』については、アメリカでは、あのビロードの服を着た、貴公子ふうの子どもは、もう時勢おくれだなどという過激論者がおりおりあらわれますが、そんな議論はいつのまにか吹き飛ばされて、いぜん児童読み物の王座をしめています。『小公女』、『秘密の花園』にいたっては、庶民的のにおいが強く、人生の浮き沈みと、その中でも動かされない真実の力を、永久に語っていくことでしよう。

バーネット女史は、一八四九年にイギリスで生まれましたが、のち一家をあげてアメリカに渡り、アメリカの作家として知られており、その代表作は『小公子』となっております。

ホーソン（一八〇四―一八六四）の児童文学における不動の地位はとうといものです。かれは子ども文学に対しても、おとなの文学と同じだけの用意と努力とことばの選択と熱情をかたむけて書きました。ホーソンの『ワンダーブック』は、一八五一年に出版されましたが、ホーソンこそは、その文学才能を惜しみなく、子どものために与えた作家であり、彼の『ワンダーブック』は永久にその新鮮味を失わないでしょう。



しょうこうし
小公子

足の痛む老伯爵を助けて、セドリックは、ふたあしみあし歩きだした。小さなからだには、肩にかかった伯爵の手でも、その重みをささえるには、せいっぱいの力が必要だった。

83ページを、ごらんください。



ひみつ はなぞの
秘密の花園

メアリは思わずはっと息をのみこんだ。そこはまるでおとぎ話の世界、青い空、緑の森、太いかしの木、笛を吹く少年、その回りにかわいい動物たちが、美しい音色に聞きほれている。

375ページを、ごらんください。

少年少女 世界の名作文学 14 アメリカ編 5

もくじ



はじめに……………2

小公子^{しょうこうし} バーンネット^{バーネット}作……………15

(一) 思いがけない知らせ……………17

(二) 友だち思いのセドリック……………29

(三) アメリカをあとに……………56

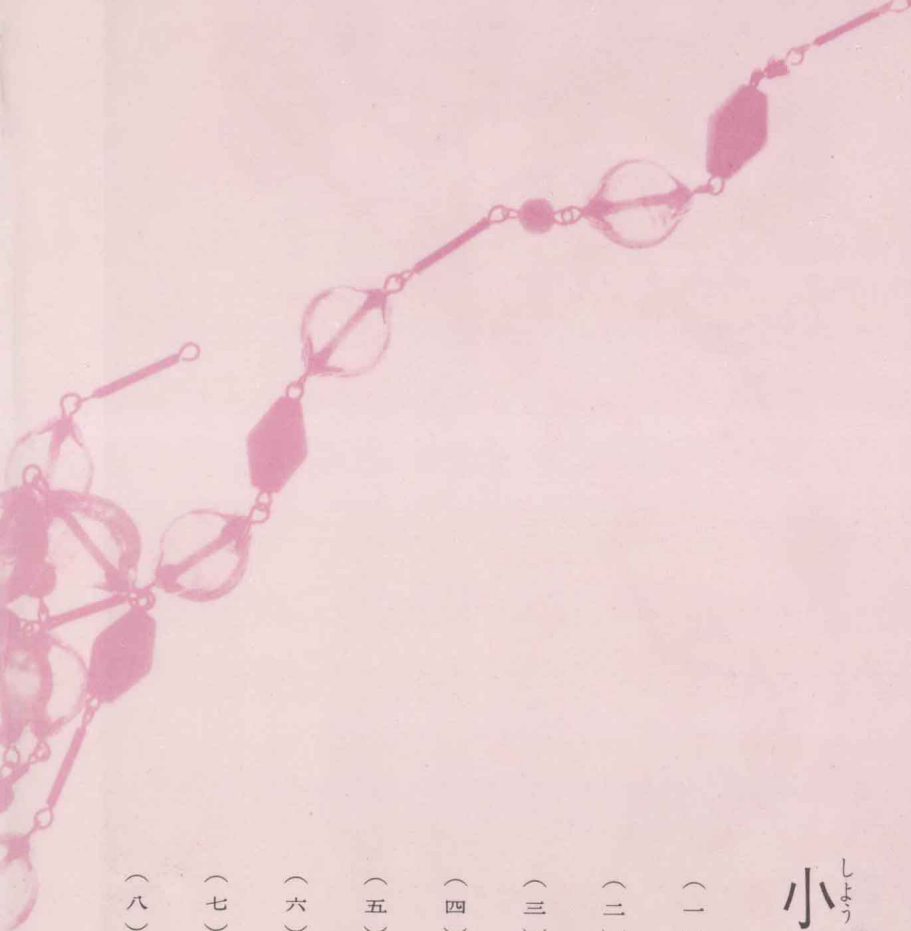
(四) イギリスの空の下で……………62

(五) ドリンコート城の夜……………74

(六) やさしい心は……………89

(七) 日曜日の教会……………107

(八) ぼくの小馬……………115



(九) みじめな人たち……………125

(十) 驚いた伯爵……………133

(十一) ホッブスさんとディックの心配……………156

(十二) ふしぎな事件……………169

(十三) 新聞に出た女……………179

(十四) もどってきた幸福……………186

(十五) 誕生日の祝賀会……………194

小公女……………203
バーネット作

(一) 霧のロンドン……………205

(二) 最初の授業……………213

(三)	ベツキイの喜び……………	227
(四)	ダイヤモンドの山……………	233
(五)	誕生日のパーティー……………	237
(六)	屋根うらべや……………	253
(七)	小さいお友だち……………	257
(八)	大きい家……………	269
(九)	病気の主人……………	276
(十)	気のどくな人……………	283
(十一)	ひそかな計画……………	294
(十二)	荒れた花園……………	304

秘密の花園 ひみつ はなの
バーネット作 さく

(十三) ふしぎなセーラ 311

(十四) 清らかな鐘 320

(十一) みなしご 329

(十二) 荒れ野を行く 335

(三) 女中マルサ 338

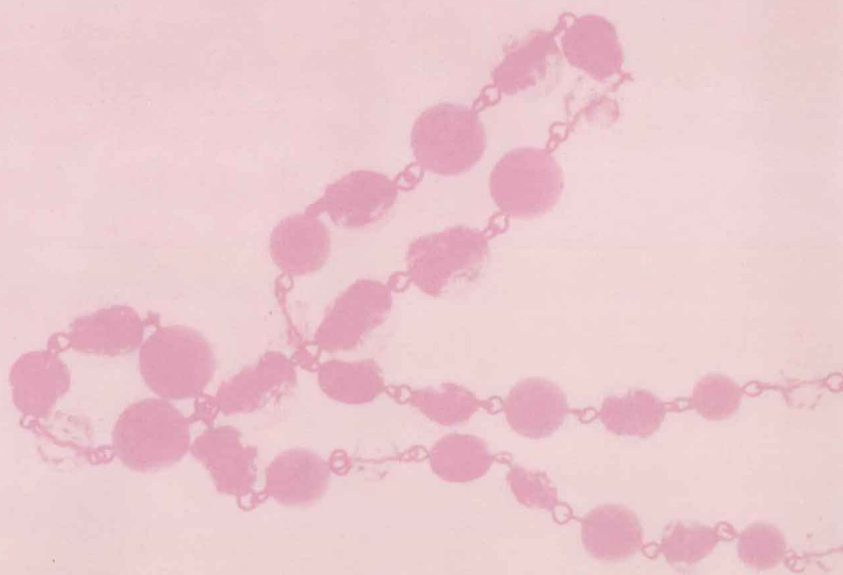
(四) 廊下の泣き声 351

(五) 花園のかぎ 359

(六) 秘密の花園 368



(七)	ドイツコン……………	374
(八)	すこしばかりの地面……………	382
(九)	ぼくはコリンだ……………	388
(十)	子どもの王さま……………	396
(十一)	仲たがい……………	403
(十二)	春がきた!……………	414
(十三)	ペンじいさん……………	424
(十四)	おかあさんだ……………	437
(十五)	しあわせな一家……………	446



ワンダーブック

ホーソン作……………453

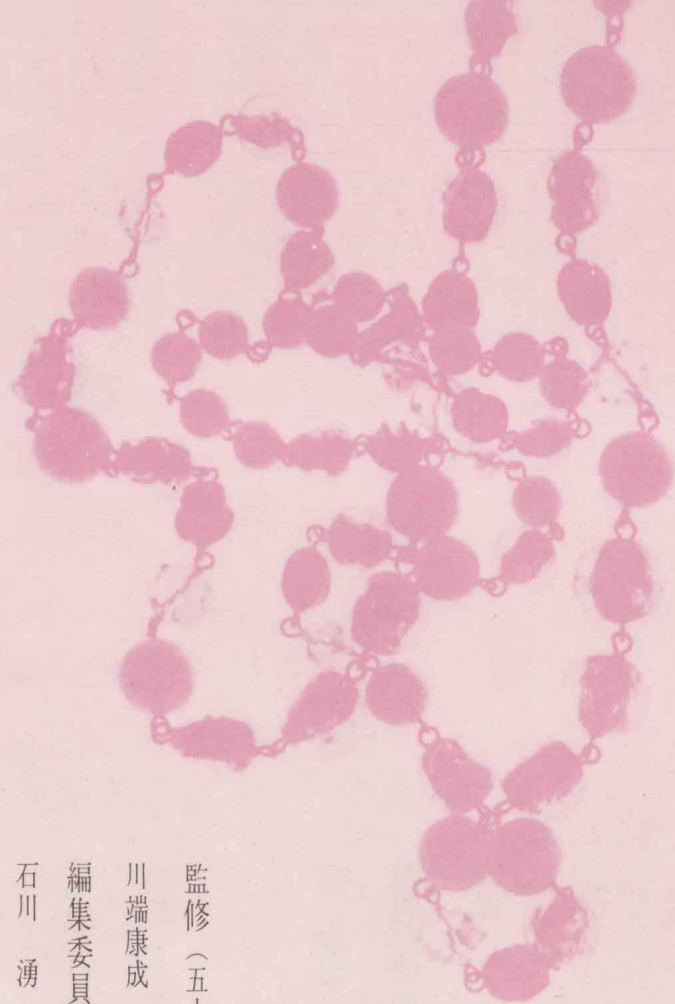
なんでも金になる話……………455

子どもの樂園……………469

解説 村岡花子……………482

表紙絵解説 伊藤 廉……………488

読書のおびき 滑川道夫……………490



監修（五十音順）

川端康成 中野好夫 浜田廣介

編集委員（五十音順）

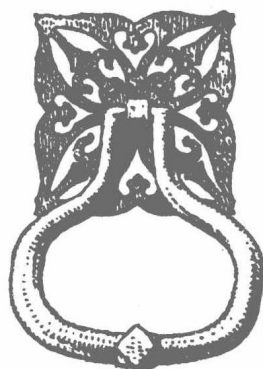
石川 湧 岩崎純孝 植田敏郎 魚返善雄

阪本一郎 関 英雄 奈街三郎 滑川道夫

福井研介 村岡花子 山室 静 彌吉光長

ブックデザイン

A・D 〓 沢田重隆 D 〓 坂野 豊



アメリカ編^{へん}
しょうこうし
小公子

5

バーネット
原作^{げんさく} 奈街三郎^{なまちさぶろう}
訳文^{やくぶん}